

2024.5.11
フレンドパーク石川



能登半島地震と珠洲原発

脱原発をめざす首長会議
2024年度学習会

志賀原発を廃炉に！訴訟原告団
北野進

今日お話ししたいこと

- 1 かつての原発予定地はいま
- 2 珠洲原発計画の概要と経過
- 3 地震と珠洲原発
- 4 反対運動の勝因
- 5 計画撤回後の珠洲

能登半島地震

震央は高屋の裏山

高屋
(関西電力の予定地)



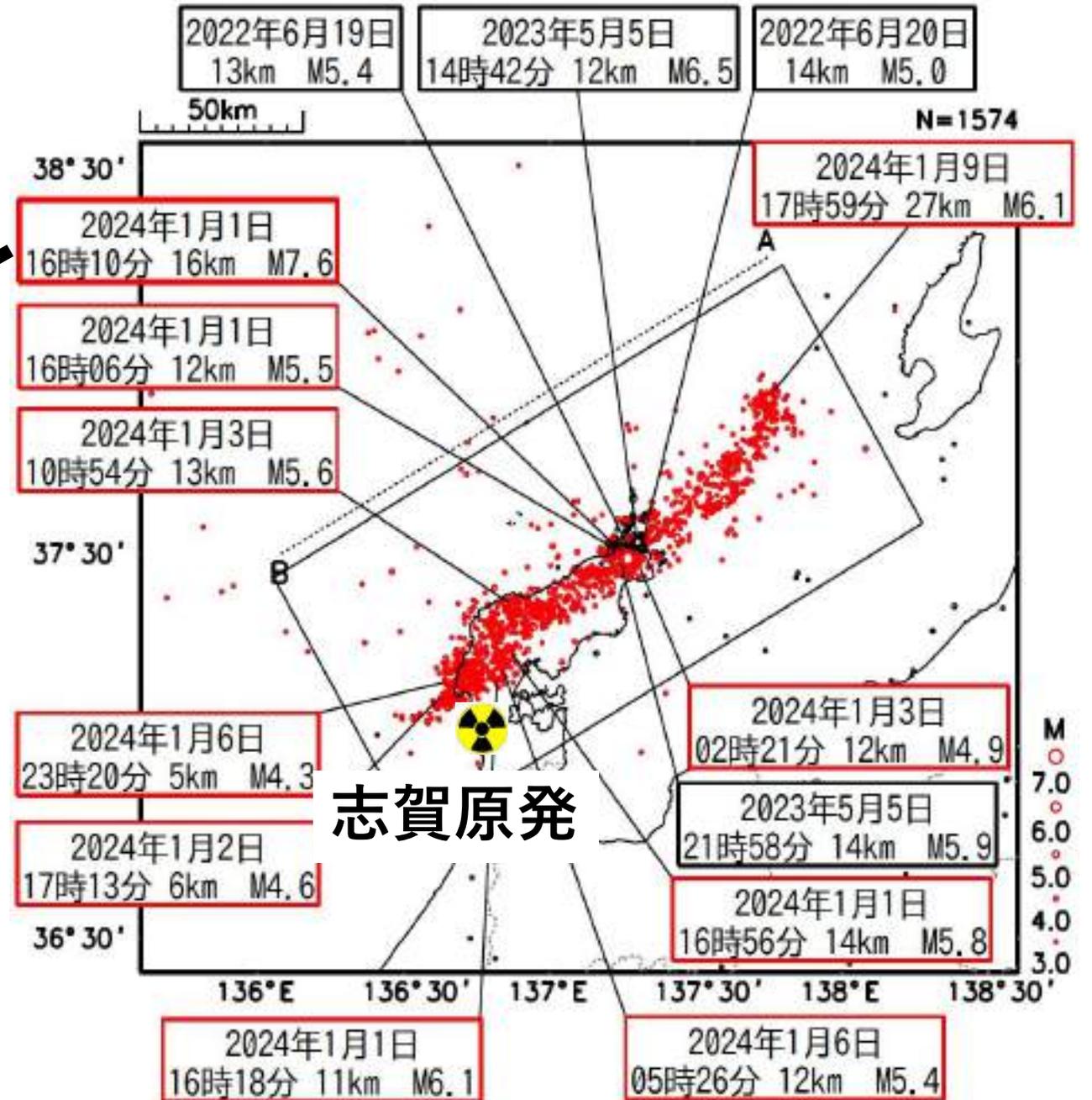
寺家
(中部電力の予定地)



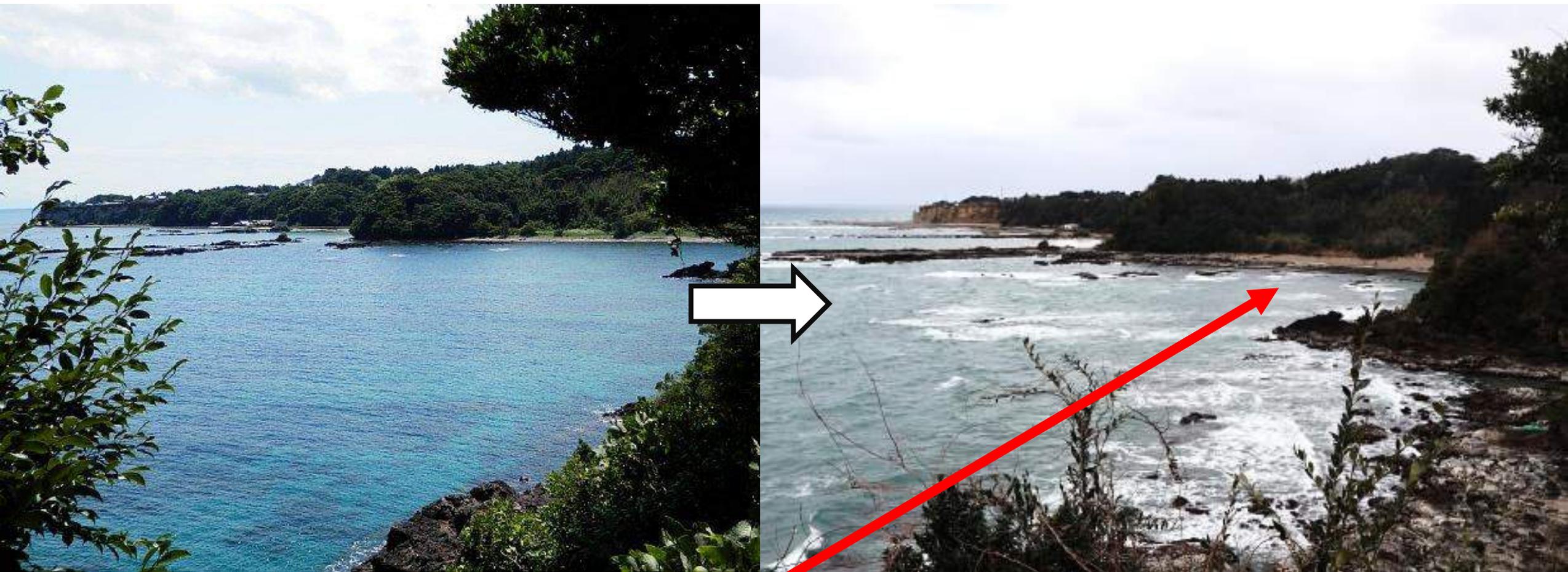
珠洲市

輪島市

能登町



中部電力の予定地寺家はいま・・・



2024.1.20北野撮影

炉心予定地が隆起

寺家に原発がなくてよかった

炉心予定地前の海岸
岩場が出現



隆起は
約1メートル



関西電力の予定地**高屋**はいま・・・



予定地一帯は大きく隆起し、陸域が広がる

高屋に原発がなくてよかった



隆起は約 2 m

隆起、地割れ、陥没、土砂崩れ、落石（高屋の風景）



閉じ込められていた

大規模・多数の道路損壊で避難できず

津波、海岸隆起で海路の避難できず

孤立集落住民はヘリでも救出できず

倒壊住宅多数で屋内退避できず

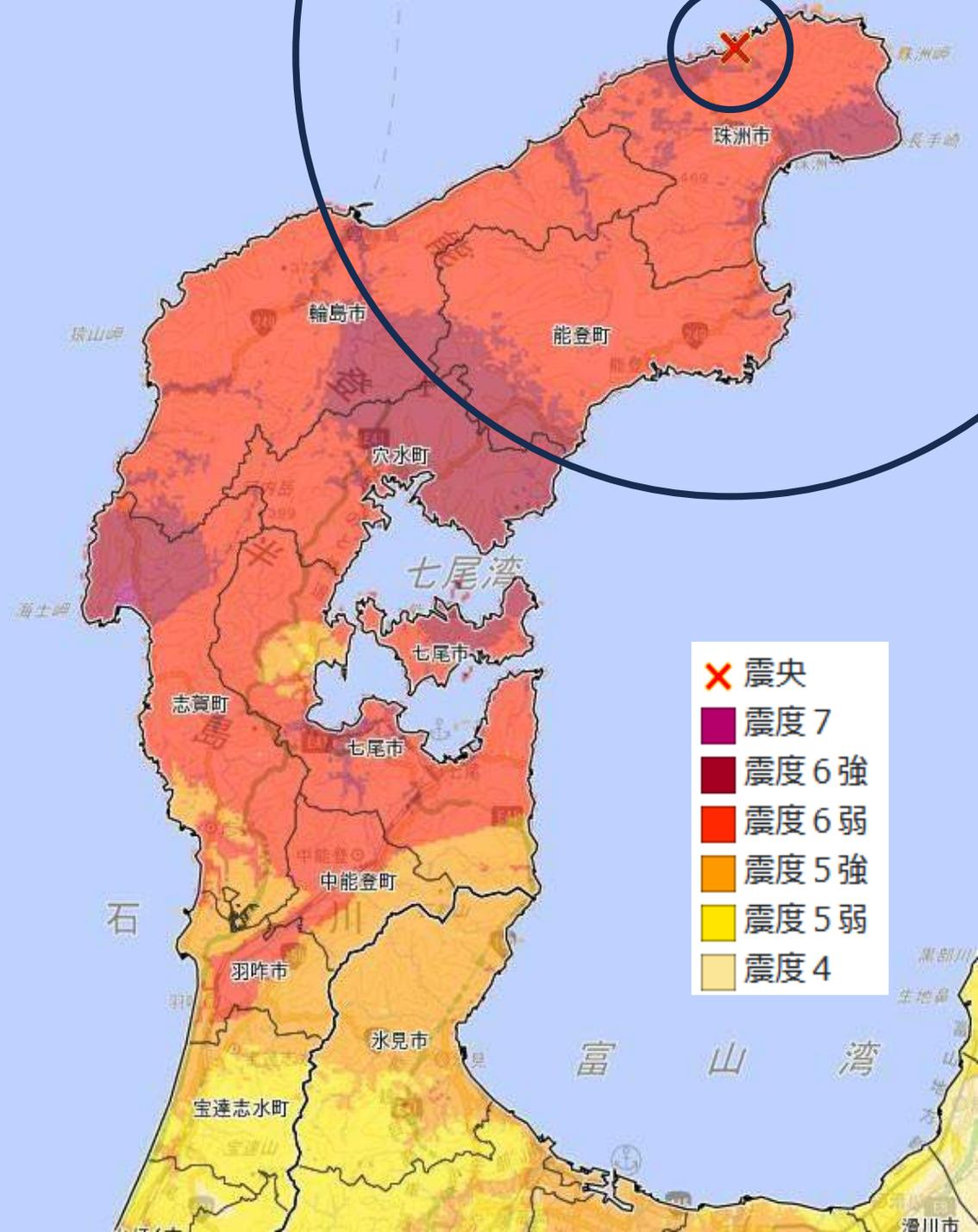
モニタリングポスト18か所欠測

区域外からの支援は途絶える

地震被害者の救出できず

支援物資届かず

道路や通信等インフラの復旧できず



珠洲原発の概要

関西電力、中部電力、北陸電力の **3 電力共同開発**
関電は高屋、中電は寺家、北電は地元の調整役を担う
当面100万kw級2基建設 将来的には**1000万kw構想**も

1975年 市議会全員協議会が国、県に適地可否調査を要望する
地元誘致型で「珠洲方式」と呼ばれる

1989年 市長選で「反原発票」が過半数
関電の立地可能性調査に対する阻止行動から**反対運動が一気に拡大**

市長選や県議選、市議選等で原発反対の民意を示す
共有地運動の展開、蛸島漁協の強固な反対で**立地は年々困難に**

2003年 関電、中電、北電の3電力社長が計画の「凍結」を表明
事実上の**計画白紙撤回**

珠洲市に大原発基地

声原閃電 一千万ワットを共同開発 会長構想

【珠洲市電】珠洲市に大規模な原子力発電基地を建設する構想が、中部電力副社長田中精一氏に明らかになった。田中氏は、東京・大手町の経団連会館で記者会見し、関西、北陸両電力と共同で調査を進めている石川県・能登半島の原子力発電所の建設計画について「珠洲市ほか二、三地点を明らかにした。現在わが国の電力会社が運転している二千万ワットの原発基地として、建設（計画を含む）を進めている二千万ワットの原発基地としては福井県・若狭湾（関西電、日本原子力発電）青森県・下北半島（東京電、東北電）福島県・大熊町（東京電）新潟県・柏崎市（東京電）があるが、能登半島共同建設構想が追加されれば、これらに匹敵する大規模基地がもう一つ誕生するのではないか。

珠洲周辺を原発大基地に

一千万W^K規模めざす 中電副社長談

田中精一中部電力副社長は十四日、東京・大手町の経団連会館で記者会見し、関西、北陸両電力と共同で調査を進めている石川県・能登半島の原子力発電所の建設計画について「珠洲市ほか二、三地点を明らかにした。現在わが国の電力会社が運転している二千万ワットの原発基地として、建設（計画を含む）を進めている二千万ワットの原発基地としては福井県・若狭湾（関西電、日本原子力発電）青森県・下北半島（東京電、東北電）福島県・大熊町（東京電）新潟県・柏崎市（東京電）があるが、能登半島共同建設構想が追加されれば、これらに匹敵する大規模基地がもう一つ誕生するのではないか。

田中氏は、東京・大手町の経団連会館で記者会見し、関西、北陸両電力と共同で調査を進めている石川県・能登半島の原子力発電所の建設計画について「珠洲市ほか二、三地点を明らかにした。現在わが国の電力会社が運転している二千万ワットの原発基地として、建設（計画を含む）を進めている二千万ワットの原発基地としては福井県・若狭湾（関西電、日本原子力発電）青森県・下北半島（東京電、東北電）福島県・大熊町（東京電）新潟県・柏崎市（東京電）があるが、能登半島共同建設構想が追加されれば、これらに匹敵する大規模基地がもう一つ誕生するのではないか。

十年後、運転開始へ

中部電力など三社は昨年七月、能登半島に原発を共同建設することを合意、現在同半島の先端にある珠洲市を中心に基礎調査を進める一方、地元住民との非公式な話し合いも行っている。その発電規模については、明らかにされていないが、田中副社長は「十年後には一百万ワット程度の発電を開始できるようにしたい」と語り、地元との話し合いを進めて同半島を原発の大基地とする構想を明らかにした。

田中氏は、東京・大手町の経団連会館で記者会見し、関西、北陸両電力と共同で調査を進めている石川県・能登半島の原子力発電所の建設計画について「珠洲市ほか二、三地点を明らかにした。現在わが国の電力会社が運転している二千万ワットの原発基地として、建設（計画を含む）を進めている二千万ワットの原発基地としては福井県・若狭湾（関西電、日本原子力発電）青森県・下北半島（東京電、東北電）福島県・大熊町（東京電）新潟県・柏崎市（東京電）があるが、能登半島共同建設構想が追加されれば、これらに匹敵する大規模基地がもう一つ誕生するのではないか。

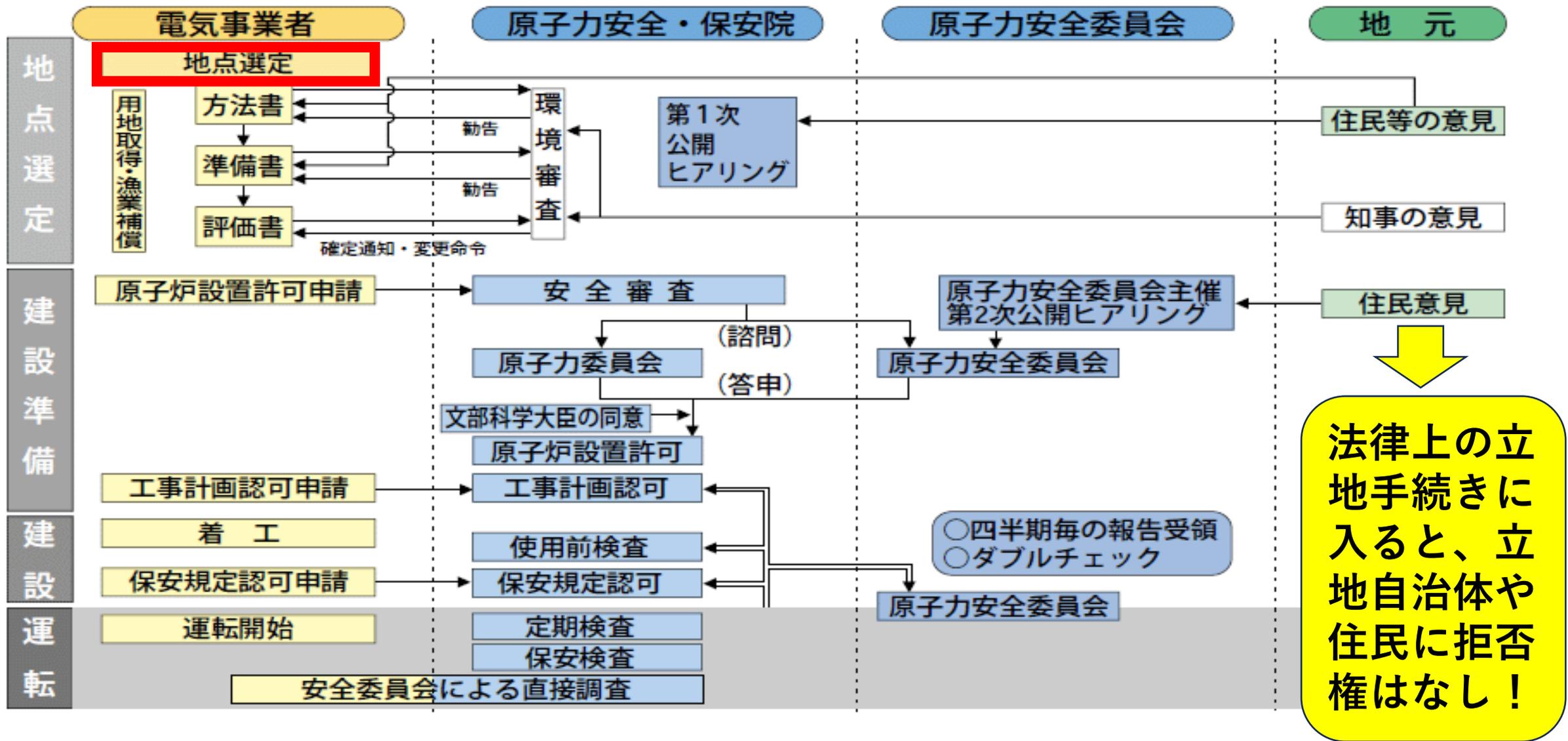


図1 原子力発電所の立地地点・選定段階から運転段階までの手続き等

林さん 唇かみ苦い万歳



珠洲市長選

原発推進に厳し

北野さん「市民が正

林陣営

原発「ノーマンダマン」な

1989.4.17 北国

珠洲市長選

反原発票が過半数



珠洲市長選開票結果

| | | | |
|---|------|-------|----|
| 当 | 八〇二 | 林 幹人 | 自現 |
| | 六二九五 | 北野 進 | 無新 |
| | 二二六六 | 米村 照夫 | 無新 |

全票終了

林幹人（はやし・みきん）副市長を兼任した。二期途中のど氏、旧制度大庁職員中、六十年四月、珠洲市長選に出陣。四十二年一月から二年間、馬、初当選。現在のと鉄道取珠洲青年会議所理事長を務め、北陸電力地産地消推進定、四十九年林幹人氏に、五、選出。珠洲市長選、四十二年四月、初当選。以来三期を務め、この間、珠、珠洲交通安全協会理事、珠洲市議会議員、珠洲市支庁長などの要職にあり、市長のほか自民党副支部長も務める。珠洲市飯田町一五五五一ノ甲。

1989.4.17 北中

原発に「ノー」の判定



事務所

胸を張

珠洲市長選 反対派

原発誘致にかげり

全市民投票の「原」だ」という市民の苦悩な、昭和六十一年九月、中部院選挙の中で、氏が見せた結果だった。林、電力と北陸電力が向市三崎町「市長は林氏で、氏が四年前、選挙から無投、寺家地区に原発建設申請し、い。しかし、原発誘致は二、票で市長に選出されて、昨年十二月、関西電力と、併りよで結成の市民ク、回ったこと、林氏は、原発の建設推進に反対、慎重に取組まざるを得ない情勢となった。

当日有権者数は、一万九千五百三十六人（男九千五百八十六人、女二万四千八百八十人）、投票率は八五・四七で、前々回の七三・〇四％（前回は無投票）を大きく上回った。

林氏、辛くも再選

北野、米村氏が大善戦

1989.4.17 北中

珠洲原発立地の是非が争点になっていた任期満了（四月二十八日）に下る珠洲市長選は、十六日投票、即日開票の結果、自民党公認で現職の林幹人氏（八、無所属新人の北野進氏（七、米村照夫氏（二）の二人を破り、再選された。しかし、原発積極推進を市政の柱に据えてきた林氏は八千二百一十一票で、二位の北野氏に千七百三十六票差をつけ、追撃を振り切ったものの、原発を撤回し、米村氏との併走を許した。これらと八千四百六十一票となつて、林氏の票を下回り、市民の原発賛否に対する答えは「ノー」と出たことになり、この市長選の結果は、これまで原発推進を推進してきた林市政に大きな影響を及ぼすことになろう。（関連記事参照）

事前調査また中断

珠洲原発 住民らの抗議で

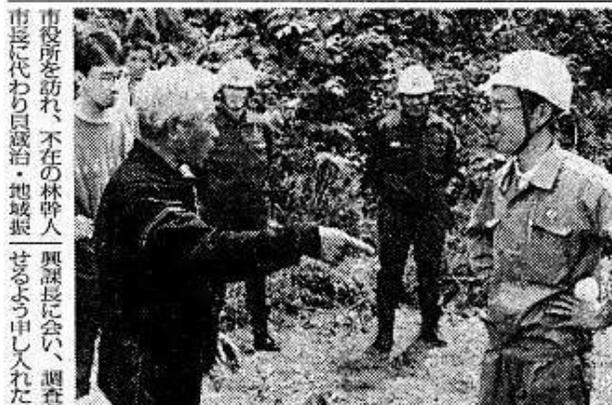
関電

石川県珠洲市高屋町で原発立地の可能性を確認する事前調査を進めている関西電力は十六日も調査を続行したが、地元の一(止)めよう原発(珠洲市民の会) (藤原敏・代表世話人)のメンバーの抗議で約二時間半で調査を打ち切った。

力建設部長の作業員七人は午前七時前に調査場所である同町新保田の山林に入り、ロープを張った後、紙掘坑や賣材置き場などの測量を開始。これに対し、珠洲市民の会のメンバーや住民約二十人がロープの外で「この土地は本当に契約した人の土地なのか」「契約書を見せよ」などと抗議

話し、にらみ合いが続いた。同十一時過ぎ、たまりかねた三浦課長が、同市飯田町にある同電力と地味珠洲連絡所に連絡を取り、引き揚げた。作業が午前中で終わったことについて黒木副社長・同電力立地部長は「もともと三分の二間、午前中だけ行っていた中

断されたのではない」と、作業が予定通り進んでいることを強調。一方、反原発グループは「電力側は事前調査を行ったという既成事実をつくらせ、立地可能という結果だけを出し、すぐに原発を建設しようとしている」と訴えている。同グループは午後から珠洲



「調査をすぐ中止しろ」と三浦建設課長(右)につめよる高屋町の住民たち—石川県珠洲市高屋町の事前調査現場で

高屋現地での30日間の阻止行動

珠洲原発

可能性調査1時間で中断

反対派抗議話し合い決裂



話し合い公開を求め黒木関電立地部長(中央)と押し問答を続ける反原発グループ—珠洲市の関電現地事務所で

能登半島の先端の珠洲原発・大阪市、森井清二社長と建設問題で、関西電力(本社・北陸電力(本社・富山市、谷

正雄社長)は十二日午前、珠洲市高屋町の新保出地区で、原発立地を採る可能性調査に着手したが、反原発市民グループと地元の一部住民らの強硬な抗議で、開始後わずか一時間余りで作業員を引き揚げこの日の作業を打ち切った。

この日午前八時から、関電立地部・高木信壽次長が現地総合責任者、同電力建設部・三浦健志課長が調査責任者となり、測量技術員ら約二十人が二班に分かれ、県道沿いと山岡部で基準点の確認などの測量と現地踏査を開始した。しかし反原発市民グループの一(止)めよう原発/珠洲

関電側は午前九時二十分、山岡部の作業員に無線を通して下山を指示、作業を中断した。



立地可能性調査中断！

「混乱」收拾のため高屋入りした中西知事と杉山副知事



石川県

調査再開の決定権は県にあり！

病院へ雲隠れした林幹人市長は石川県の信頼を失う



珠洲市



関電

「大丈夫です」と豪語した関電・黒木立地部長は面目丸つぶれ

「地震と原発」も大きな争点

1993年4月

高屋での立地可能性調査再開か

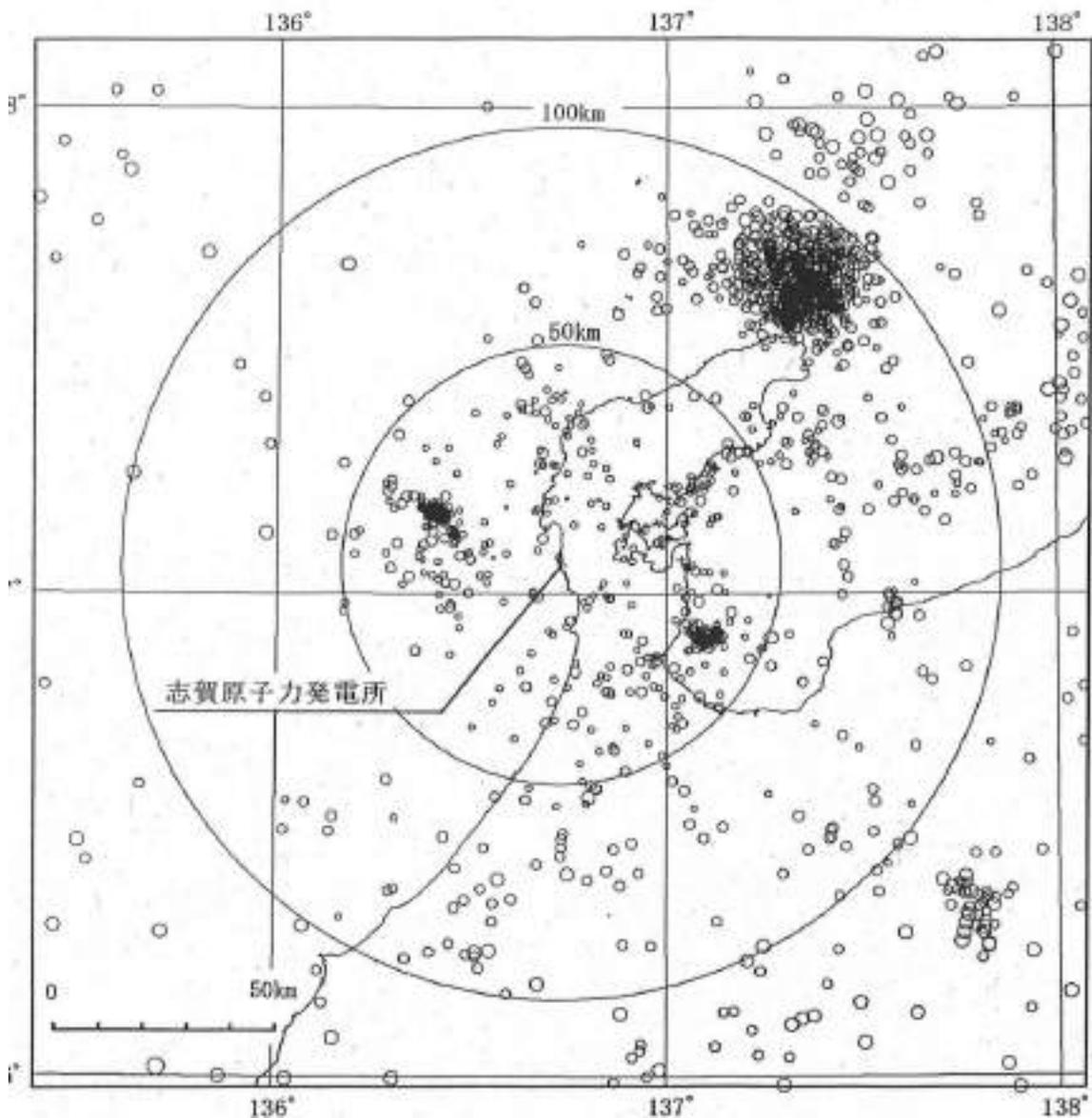
珠洲原発の白紙撤回か

珠洲原発の行方を左右する**市長選**

1993年2月7日

能登半島沖地震発生！

能登半島沖地震(1993年2月7日 M6.6)



- 負傷者 : 29名
- 住宅全壊 : 1棟
- 住宅半壊 : 20棟
- 一部破損 : 1棟
- 道路被害 : 142箇所
- 水道断水 : 2355箇所 など

⇒ 被害は珠洲市に集中

| 震度 | 都道府県 | 観測所 |
|----|------|-------|
| 5 | 石川県 | 輪島 |
| 4 | 石川県 | 金沢 |
| | 富山県 | 富山・高岡 |
| | 新潟県 | 高田 |
| 3 | 新潟県 | 新潟・相川 |
| | 福井県 | 福井・敦賀 |
| | 長野県 | 長野・諏訪 |
| | 岐阜県 | 高山 |
| | 愛知県 | 名古屋 |
| | 滋賀県 | 彦根 |



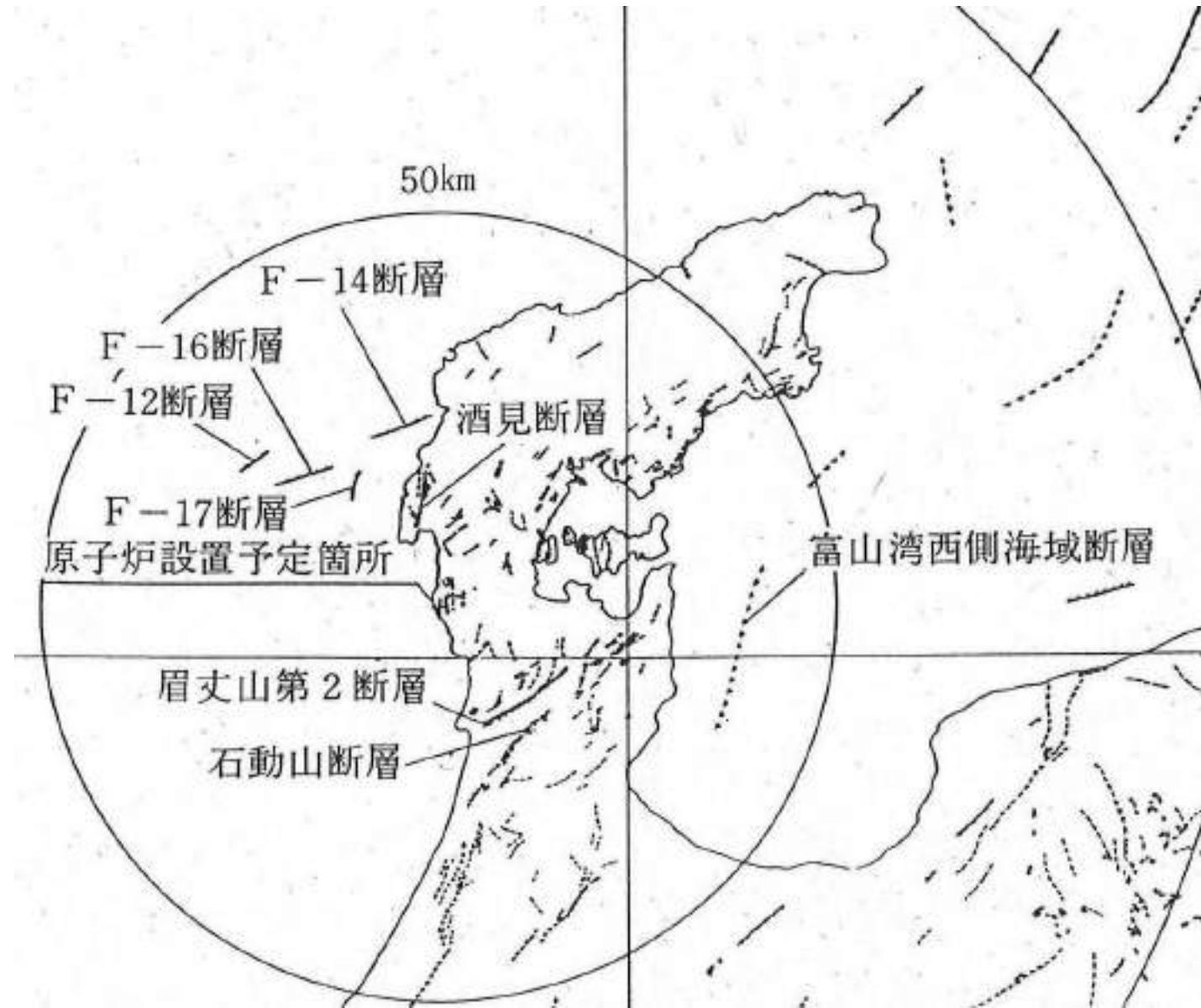
今では到底配布できない千ラシヤ
パンフが山のよう

設置許可申請書で見る能登の活断層

1号機設置許可申請書
添付資料より
(1987年1月提出)

2号機設置変更許可申請書もほぼ同様
(1997年5月提出)

少ない
短い
志賀原発周辺にない！



「無念の敗戦」から一転「不正選挙糾明」へ

投票者数 17,501票

林 幹人 9,199票

樫田 準一郎 8,241票

無効票 88票

計 17,517票

投票総数が
16票多い！



「不正選挙」で原発推進の現職当選するも・・・

偽造投票
用紙の混入

不在者投票
管理の違法

開票管理の
違法

1996年5月
最高裁で選挙無効確定

不正転入

選挙の
自由妨害

正規投票の
抜き取り

原発立地をかけた選挙では、民主主義の
根幹である選挙がここまで歪められる！

原発反対選挙をたたかい抜く



珠洲原発の建設断念

3電力社長が正式表明



貝蔵珠洲市長（中央奥）に珠洲原発の建設断念への理解を求める電力三社の社長

同市役所

関西電力の藤洋作、中部電力の石川谷本正、北陸電力の谷本正吉の3社長が、5日午後、珠洲市の振興策を含め、今後

工
ネ
庁

2003年
12月5日

「誠意」

新木宮
訪れ、
て三社

対

2003年12月5日 3電力が撤退表明



地元事情
厳しくて・・・

電力需要が低迷して
おりました・・・

電力市場の
自由化が
進みますので・・・

反対派の勝因

原発推進の「住民合意」を阻止

1994年、谷本知事誕生

公約は「珠洲原発は**現状では困難**」 「**今後は住民合意を最大限尊重**」

住民合意の
判断基準

1. 関係漁協の同意
2. 用地買収の状況
3. 関係団体の動向
4. 反対運動の状況
5. 選挙の結果

等を総合的に判断する

市長選、市議選、県議選、知事選等で**原発反対の民意**を示し続ける

共有地運動を展開。高屋、寺家の予定地やその周辺数十か所で共有地登記を行い、用地買収を阻止

漁業権をもつ蛸島漁協は反対運動の拠点。固い結束を維持する

計画白紙撤回へ攻めの選挙 立地阻止の要「共有地」



志賀と珠洲 主要経過

志賀原発

珠洲原発

1967.11 建設予定地公表(志賀町赤住・富来町福浦)

1970. 1 富来町内の用地買収断念

1984. 3 石川県が「肩代わり海洋調査」を実施

1986 4度目の計画縮小で敷地確定

1988. 7 関係漁協の漁業補償等終了

1988.12 1号機着工 1号機差止訴訟提訴

1993. 7 1号機営業運転開始

1999. 8 2号機建設差止訴訟提訴

2006. 3 2号機営業運転開始

2006. 3 金沢地裁(井戸裁判長)差止判決

2012. 6 志賀原発を廃炉に! 訴訟提訴

26年間

1975.11 市議会、敵地可否調査を国・県に要望

1984. 3 関電・中電・北電が統合事務所開設

1988.12 関電、立地可能性調査を珠洲市に申し入れ

1989. 5 関電、立地可能性調査開始、中断へ

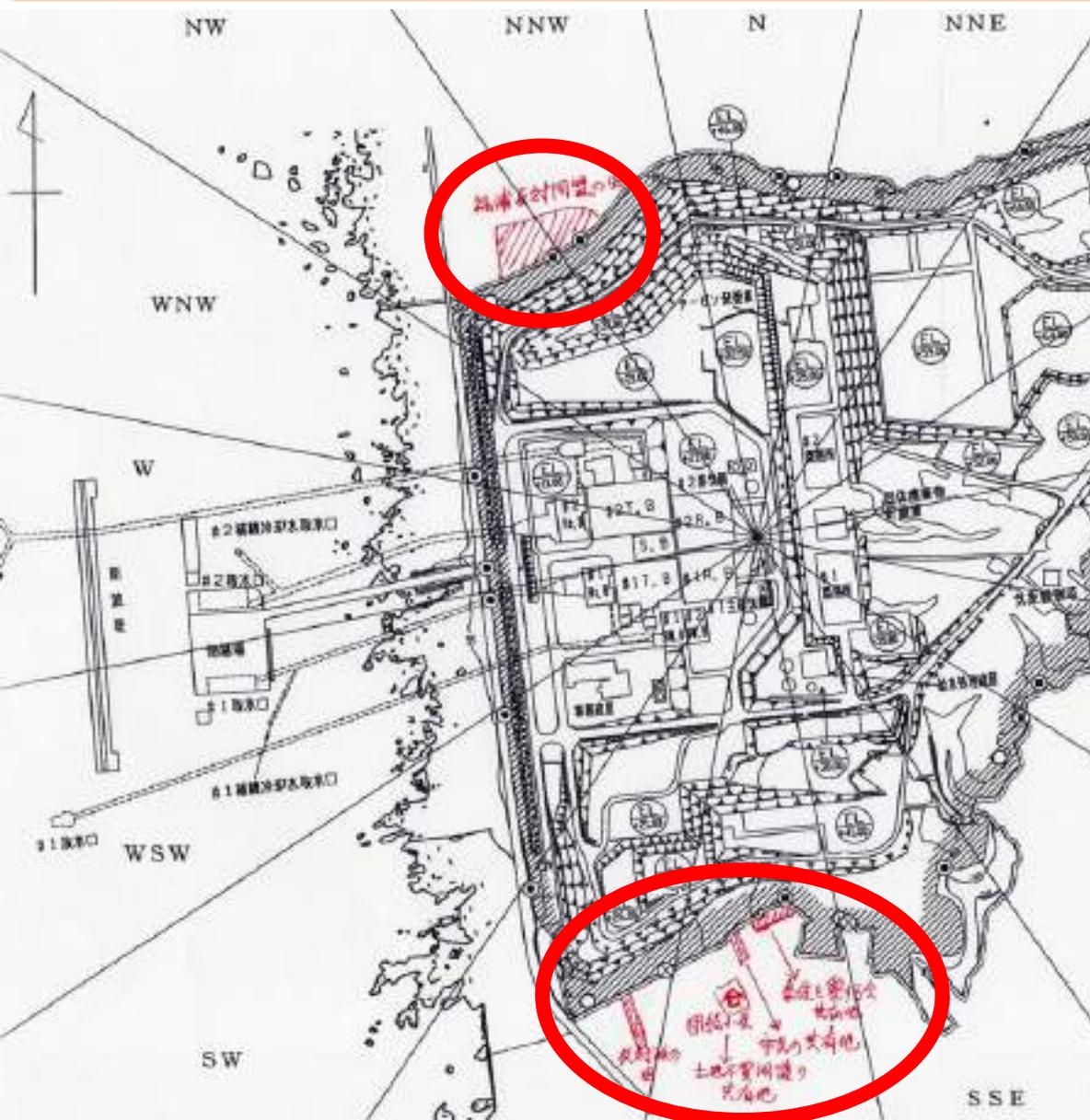
2003.12 関電・中電・北電が計画の凍結を表明

志賀原発を廃炉に！訴訟の経過

| | 金沢地裁 | 有識者会合 | 原子力規制委員会 |
|------------|---|-------------------------|---------------|
| 2012.6.26 | 提訴（以後、41回の口頭弁論） | | |
| 2012.7 | | 敷地内断層問題浮上 | |
| 2014.8. 12 | | | 北電・2号機適合性審査申請 |
| 2015.12.28 | 裁判所「本件訴訟の争点は活断層問題に絞る。規制委員会の判断を待つことはしない」 | | |
| 2016.4.27 | | 「将来の活動否定できず」の評価書を規制委へ提出 | |
| 2016.6.12 | | | 適合性審査実質的スタート |
| 2018.3.26 | ↓ 規制委の判断を待つ（従う） | | |
| 2023.3.3 | | | 敷地内断層「活動性なし」 |
| 2023.5 | | | 周辺断層の審査審査本格化 |
| 2023.6.1 | 北電「規制委の判断を踏まえた審理・判断を」 | | |

裁判所の今後の
審理方針が注目
される中、能登
半島地震発生

北電、敷地半減で共有地をかわす



4度の計画縮小で
154万 m^2 に！



反対漁協つぶしは石川県が担う

能登（志賀）原発反対を貫く西海漁協

1983年

- ・共同漁業権見直しの年
- ・まき網漁の免許更新の年



許認可権を盾に県が西海漁協に圧力
組合長交代へ

海洋調査を県が肩代わり
調査結果を北電に売却



電力撤退後の珠洲市はどのような？

2003.12.6 北国

放心状態 涙の両派

珠洲原発断念 推進派、反対派が集会



住民に立った事実断念の軽微を報告する貝蔵市長



断念断念が正式に決まり、反対派の集會

「力のなさ許して」

貝蔵市長 寺家、高屋で報告

「原電の将来を考えると、原電は出てくることがない。力のなさを許してほしい。五百日後、断念しないことをお願ひします。」

市役所も一つの原電に依存して来た。断念断念が正式に決まり、反対派の集會

「原電、何もたら、

珠洲原発凍結「勝者ない」



石川県珠洲市の住民を賛否両派に画が5日、事実上の断念に追い込まれ28年。地域振興の「切り札」は、情の変化で幻となった。まぎらへく、の集約は修復できるのか。熊登半島不安と課題に直面している。

住民「傷跡どうなるんだ」

断念断念の状況を関係電力から説明を聞く高屋地区の住民

珠洲原発「凍結」説明



2003.12.6 北中

28年目の成局 凍結の行方

「信頼関係

謝罪中電社長

推進・反対徒労感深く

対立28年「何のため」

2003.12.6 朝日

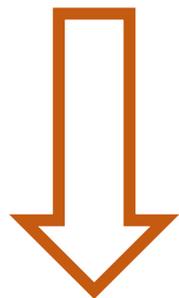
電力撤退後の珠洲市はどうなった？

市民の融和は思いのほか早く進む

反対派：「勝った！」とは言わない

推進派：原発を語っても詮無いこと

推進派の原発への未練は残る



東京電力福島第一原発事故

群発地震～能登半島地震

珠洲に原発がなくてよかった